

写真リアリズム45号本部で遂に売切れか

東京の某先生より三重に45号残っていませんかと打診あり。
「残っているのがありましたら引取りまはか、何冊残ってます？」
「ハ、一応支部の手持ちはゼロです。会員の中ではまだ売切っていない人もいますが」
「じゃあ、それ頂きましょう」
「????????(イッタイナゴトが起キマゾ) いえいえ結構です」
「そうですか。……実はこちらで売切れましてね」
(へえー そんなことあるのかな) 「それは結構なこと——」
「手拍目迄の付いてないの 5冊でも10冊でも頂けません？」
「ちょっとむづかしいと思います。※三重では今の相場1冊3000円です。それでよかったですら5冊くらいは会員に頼んでみましょ」と言いたかったけど※印以降は言葉を吞みこんであいた。

視点展応募者は 32名か33名か それとも

31名か。編集部へ集った資料によると 準会員1名を含めて32名という数字が出た。必ずしも正確といえないので誤差を(+)(-)1名とした。
意外なことはみんな自分の当落を気にしないで、少くともそんなふりをして、いったいことは何名入選するであろうかと殊勝なことを言う。そこでまたまた編集部へ集った資料から判断すると 入選者はズバリ10名と出た。(+)3名(-)1名である。
そこへ1枚の投書が着いた。その匿名氏は10.89名と言う。いったい0.89名とはどんな計算や?
あまけに応募者と思われる人に 相模のしるを付けてきた。面白いので紹介すると、アイケイ原

洋山(ヨーサン)
スミオ松(去年はたかスミオ川)
政の糸(政の伊藤の意味か?)
今井嵐
舟山(シュサン) こらの方か
栄子浦 エコ錦 良こ錦
絵門錦(去年のまま)
ホーム種(法山局喜多川さん)
若竹
隆の字
北村流
竹岳(竹だけ子す小林さん)
こもり鶴(小森君)
佐伯灘
佐々川
清水川 勝丸山(ふたつ)
舌古城

谷川岳
篤斗雲
一樹影
アイン柱(愛之君)
新美山
賀虎(コウヤ 傑作) これ何者か
西井峰
八木風
博華
益井山(新入会 益さん!)平本桜
松尾花
水の谷
柳生の里
和竜(これと傑作)
武の鬚
中茶島 中茶流

アッ!と驚くストップショット……
3.15 鈴鹿例会

まだ視点の審査が終っていないというのに
鈴鹿の箱では早々例会! 京子姉は応募が
終ったとたんにもすぐ写真を作ってきたのだ!
あと一週間早く、これができてたら、とみんな
歯ざしり。これは、それはすごいスタッフ。
ギョッとするようなシャッターチャンス。「彼女、もし
かしたら天才だったのでは?」と僕は、またも
彼女にホしてしまつたのです。

松尾クン——和ちゃんが地上10m上空を翔んでる写真
に話題集中。どんなか見せて欲しい人は松尾まで。
フいでに言えば、他の彼の「作品」は見向きもされなかつた
です。

高藤クン——「この娘、すごい美人だね」「たのんで撮らせて
もらったの?」「任新聞いた?」みんな写真のことは何にも
言わず、写ってるカワイコちゃんに話題集中。

トツモ楽しい盛況。鈴鹿例会は
ホントニ、ホントニ楽しい例会。また
出席したことのない人はぜひ一度!!

この記事を百万石編集部で作成中に複製が舞
い込んだ。

さてその中身は…?? ジャ〜〜ン。

お氣の毒にも東大先生が五度入賞。

視点 奨励賞に決まりました。

まほ"3"しのスポットーン

清水さんが、皆さんの申し込み、20個分を現金を添えて
頼んだところ、郵送されてきたのはたに91個。
「品切れです。輸入待ちです。117輸入されるかわかり
ません。一個だけありましたので送ります」
「ホトッスーン」(これは清水さんが、しばらくして、うん百万
横をしたことに気付いた時のため息)

「やも子ガンバレ!!」(篤斗雲)
頑張って奨励賞!!

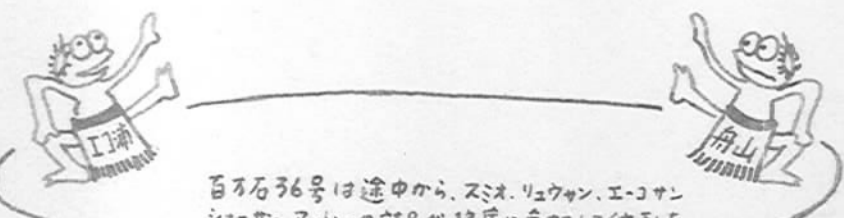
入賞電報、入選ハガキを受け取った
方は「イマスブ」百万石編集部へ
お知らせ下さい。

みんなの知らぬ間に 視点展の切道后に
鈴鹿で例会があった由 篤斗雲速報

自分の入賞も知らないので、のんきあっとん!

15分後

これが判明するのにはスミオさんが心の
ため篤斗雲にせんでんわしたのが始まり
でした。まんその時守子さんばりっ
いませんした。



百万石36号は途中から、スミオ、リュウカン、エコサン
シュサン、アトンの諸氏が編集に参加してくれました

そして 篤斗雲夫人が駆け付けたのは彼女が深夜の勤務を終えた夜の10時ころでした。

このマンガをかいたのは、エコさんとかの時ですか? (笑)